

令和4年度学校評価シート（学校関係者評価）

かびら幼稚園

学校関係者評価委員会

日時 令和5年3月1日ほか

公開保育の後、学校評価を実施

10:00～12:00（時間）

出席者 評価委員（保護者）2人

評価委員（地域住民）2人

評価委員（他の施設の職員）1人

1、自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか。

目標や計画は、少子化の流れの中、時代にあった幼稚園をつくりあげていく観点から適切であったと思う。園の業務でもICT化を進めることは、業務の効率化とともに、保護者にとっても利便性が高まることであるので、推し進めてもらいたい。

引き続き、コロナ禍であっても、園児達の成長に繋がる行事や活動を工夫して行ってきたことは、評価できる。来年度は、切り替わりの時期になると思うが、感染症対策を行いつつ、出来る形を模索し、実施されることを期待している。

保育者の質の向上もこの時代にあった適切な課題であり、一人一人の保育に対する意識を高めて、不適切な保育などに繋がることがないようにしてもらいたい。

2、評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思われる。評価すべき点と今後とりくむべき点が把握されていると思った。

3、今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

安全管理については、幼児を取り巻く社会、環境を考えても大変重要な課題であり、設定は適切だと思われる。現在、行っている対応をしっかりと行うとともに、常に見直しを行い、必要な修正を行ってもらいたい。慢心が一番怖いので、常に緊張感を持って取り組んでほしい。

かびら幼稚園では、有意義な取り組みを色々を行い、コロナ禍であっても、常に工夫し、園児の成長のためにできることは何かという意欲をもって保育に取り組まれているので、ぜひ多くの親子の方々にも園を知っていただきたいと思う。小さなお子さんが園に来られる機会を増やし、子育て支援にも力をいれていくことは、大切だと思われる。

4、公開保育に参加して

コロナ禍の中での園生活だが、屋内でのマスク着用や換気の実施、手洗い励行等を対策を行っていることと、園児達がそのような中でも、イキイキと日々過ごしている様子がみることができ、良かった。やはり、毎日、登園し、先生や他の園児達と関わったり、行事や色々な活動をおとして、経験を重ねることは、大切さであると強く感じる。教職員の方々は、配慮する点が多く、大変だと思われるが、引き続き、子ども達のため頑張ってもらいたい。